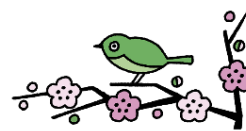




# こんにちは！ 子育て支援センターです



令和4年3月

ひな祭りは「桃の節句」ともいわれ、平安時代から続く伝統行事です。ひな人形と一緒に供えるひし餅は、「白い雪の中から緑の芽が出て桃の花が咲いている」という春の情景をイメージしています。緑に使用するヨモギには健康、白のヒシの実には清浄、赤のくちなしの実には魔除けの意味がこめられているという説があります。お子さんの健やかな成長と幸福を願う家族の愛情がこめられているのですね。

魔除け



清浄

健康



♪はじまるよったらはじまるよ～♪  
始まる前の導入として、みんなで、  
手あそびをします。

2月のミュージックケアの  
ひとコマです。



## 親子で楽しむ紙芝居の時間

小さな子どもたちが引き付けられるよう、内容が単純で分かりやすいものや繰り返しがあるものを選んでいきます。

まずは、静かに見たり聴いたりしようとする雰囲気作りが大切。

最初のうちは、内容に応じてお母さんが時々声掛けをしながら一緒に楽しむことで、段々と集中できるようになっていきます。身近な大人と一緒に楽しむ経験は、子どもの心を豊かにします。



★動画配信を  
しています★

「節分」の楽しい様子が伝  
わります。(オニも出てきま  
す)ホームページや大野市の  
公式ラインからご覧になるこ  
とができます。是非！！



「キララ」の色によって  
音色が違います。  
子どもたちが大好きで手  
に持ちやすい楽器です。



## 子どもの指さし



子どもの指さしは「言葉の前の言葉」と言われています。1歳を過ぎたころの子どもは、指さしをして「あったよ」「見つけたよ」「見て！」など、大人に知らせます。その行為に対して、「きれいなお花が咲いているね」「わんわん、いたね」「かわいいね」など大人に返してもらうことで、言葉を獲得していきます。「まだわからないだろう」と指さしを流してしまうと、言葉に出会う機会が減ることになります。また、受け止めずにいると子どもは自分から発信することをあきらめてしまいます。

「そうだね」「あったね」「きれいだね」など共感してもらえることが大切で、わかってもらえた喜びやいつも自分に応えてくれる人がいるという安心感の中から言葉が生まれ出されることは、とても大切なことなのです。

★ 「3密」を避け、マスクの着用・手洗いで感染対策の徹底を！！ ★